

Senju Family だより

Autumn 2021

Topics

■ 国産製品で初めてPinkVERIFY™ ITIL4の認証を取得しました

PinkVERIFY™は、カナダのPink Elephant社が1998年から提供している歴史のある認定制度であり、ITサービスマネジメントツールがITIL®を実現する機能を実装していることを認定しています。現在、ITIL 4の認定対象はワールドワイドで8製品ありますが、国産としては初めてSenju/SMが認定を取得しました。

今回「インシデント管理」「問題管理」「変更コントロール」「リリース管理」の4つのプラクティスについて認証を取得しています。認定されるには、約100個の審査項目を全てクリアする必要があります。

審査では、ITIL 4で求められる機能要求に対して、ツールの機能説明→デモ→ドキュメント確認を繰り返します。ITIL V3と比較すると、「更なる自動化」「速い判断をサポートする分析・レポート」「コミュニケーションを効率化する外部連携」等が特徴的なポイントになります。

残念ながら「サービスリクエスト管理」についてはクリアできない審査項目があり認証取得に至りませんでした。現在追加機能を開発しており再挑戦する予定です。追加取得できましたら改めて報告いたします。



PinkVERIFY™
ITIL® 4
4 Practices

Event



【プレスリリースサイト】 https://www.nri.com/jp/news/info/cc/lst/2021/0928_1

■ HDIアカデミー(日本)、および Support World Live(米国) に出展

サポートサービス業界の一大イベントであるHDIアカデミー/KCSアカデミーに出展します。コロナ対策を行い、オンサイトとオンラインのハイブリッド開催となります。ご参加の際はNRIブースにお立ち寄りください。

また、米国オーランドで開催されるHDI主催 Support World Liveにも出展します。Senjuのグローバル展開にもご注目ください。



10月20～22日 新宿京王プラザホテル およびオンライン
11月 6～11日 米国オーランド およびオンライン



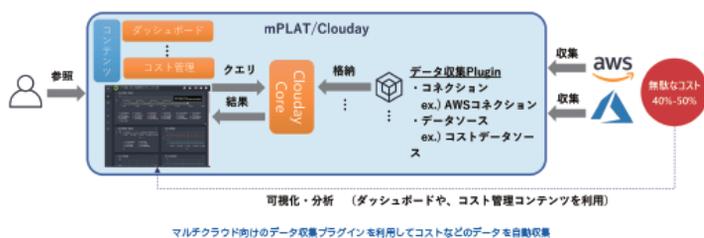
【HDIアカデミー(日本)サイト】 <https://academy2021.hdi-japan.com/>
【Support World Live(米国)サイト】 <https://www.hdiconference.com/>

■ マルチクラウド横断で可視化、統制強化とコスト削減へ

マルチクラウドの利用が広がる中で、複数のクラウドの統合管理に頭を悩ませる企業が増えています。企業がクラウドサービスプロバイダーに支払う利用料のうち、40~50%が削減できるとも言われています。

本資料では、マルチクラウドにおける適切な可視化やコスト削減が難しい要因を解説し、mPLAT/Cloudayによるマルチクラウド横断での利用教協可視化によるコスト削減と統制強化方法を紹介しています。

NRI社内の一部署だけで月額200万円のコストを削減した事例や、某金融機関において約200のAWSアカウントやシステムからのメトリックスを統合管理した例、利用部門向けの請求管理サービスの構築例なども紹介しています。



株式会社野村総合研究所

マルチクラウド横断で利用状況を可視化 統制強化とコスト削減へ

コストの垂れ流しを防ぎ、月額200万円を削減した事例も

マルチクラウドの利用が広がる中で、複数のクラウドの統合管理をどのように行うべきか悩まされる企業が増えています。企業がクラウドサービスプロバイダーに支払う利用料のうち、削減できるコストは40~50%を占めているとも言われます。管理するクラウドが増えればその分だけ可視性の欠如や管理コストの増加、ガバナンスやセキュリティの問題が顕在化し、事業にダメージを与えかねない。それに対する解決策として、NRIが提供するマルチクラウド管理ツール「mPLAT/Clouday」を解説する。

マルチクラウド利用の拡大に伴い 管理に悩む企業が増加

近年では、クラウドの活用が進んだことで複数のクラウドを使い分けるマルチクラウド環境を採用する企業が増えてきた。マルチクラウドのメリットは、用途に応じて各クラウドの「いいとこ取り」ができることや、ベンダーロックインを回避できること、冗長化やリスク分散ができることなどにある。

特にパブリッククラウドは、Amazon Web Services (AWS) や Microsoft Azure (Azure) に加え、Google Cloud Platform (GCP)、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) など、IaaSを中心に独自の魅力を持ったサービスが登場しており、選択や活用幅が広がっている。

一方で、マルチクラウドによるデメリットも存在する。よく課題になるのは、組織内での統合的な管理が困難になることだ。クラウドサービスごとに管理体系や運用方法が異なるため、複数のクラウドを利用することで、どの部門のどのユーザーがどんなサービスを利用しているかを把握しにくくなる。

セグメントや情報漏えいを抑えたいとする事例も頻発している。ガバナンスを確保し、セキュリティ対策を徹底する仕組みが必要だ。

近年は、こうした課題に対応するために、マルチクラウド管理のツールに注目が集まっている。その1つとして有力なサービスが、NRIが提供する「mPLAT/Clouday」だ。以下にその詳細を解説する。

Senju Family から発展して生まれた マルチクラウド管理ツール

情報システムの運用管理を高度化・効率化するソリューション「Senju Family」を開発・提供しているNRIだが、各種クラウドサービスの管理機能も積極的に開発している。「Senju Family」のクラウド版は「mPLAT」ブランドで提供している。その中で、mPLAT/Cloudayはマルチクラウド管理ツールとして2019年10月にリリースされたサービスだ。

mPLAT/Cloudayは企業のマルチクラウド管理にどのようなメリットをもたらすのか。それを知るためには、まずマルチクラウド管理において可視性、コスト、セキュリティがなぜ課



➡ 【ダウンロードサイト】 <https://senjufamily.nri.co.jp/library/index.html>

■ 各種イベント開催のご案内

コロナ禍以降これまでにウェビナーを約50回開催し、約1000名の方々にご参加いただきました。改めてお礼申し上げます。アンケート等を参考にさせて頂き、10月以降は皆様の興味関心が高い「他社事例」と「標準化・自動化」にテーマをしばって開催してまいります。引き続きセミナーへのご参加もよろしくお願いたします。

- システム運用改善事例セミナー 10/13、11/10、12/8 11:00~12:00
- システム運用の標準化・自動化セミナー 10/27、11/24、12/22 11:00~12:00
- Senju/SM オンライン ハンズオンセミナー 10/7、11/4、12/2 13:30~15:30
- Senju/DC オンライン ハンズオンセミナー 10/21、11/18、12/16 09:30~15:00

➡ 【詳細・お申込みはこちら】 <https://senjufamily.nri.co.jp/event/>

日程・内容は変更されることがありますことをご了承願います。

お問い合わせ先：Senjuインフォメーションセンター

Tel：0120-736-580

Mail：senjuinfo@nri.co.jp

Web：https://senjufamily.nri.co.jp

